

副理事長・総務委員長に就任して

株式会社ダイヤコンサルタント東北支社長
大賀 政秀



私は、岡山県出身で、18歳から大学進学に伴い埼玉県に住み着き37年が過ぎました。途中、横浜に6年、新潟に3.5年勤務しましたが、その間を除くと、埼玉県民歴は28年程度になります。そんな中で、昨年からは仙台勤務となり単身赴任生活も新潟から連続して丸5年になろうとしています。東北地方は美味しい食材に恵まれ、お酒も美味しく、さらに海に山に観光地も多くて、都道府県魅力度ランキングで45位の埼玉県民から見ると、羨ましい限りです。一方の東北の方から見た埼玉はどんな感じでしょうか？ 恐らく、東京に出かけるときの通過点ではないでしょうか。埼玉は、特色がないことから、昔から「ダサイ・たま」などと呼ばれて蔑まれてきました。そんな埼玉の中から、貴重な観光スポットをご紹介しますと思います。

【サッカーの街】

埼玉のサッカーは「埼玉県師範学校（現：埼玉大学教育学部）」で1908年から始まったとされており、その歴史は100年以上です。熱狂的なサポーターで有名な浦和レッズのエンブレムには「埼玉県師範学校」の校舎「鳳翔閣」が描かれています。この校舎は「浦和博物館」として

復元されています。6万人近いサポーターで赤く埋め尽くされた「さいたまスタジアム2002」は圧巻です。現在、東北にはJ1チームが無いため、東北で浦和レッズの試合観戦が出来ないことは残念です。ベカルタ仙台、モンテディオ山形のJ1昇格を期待しています。



さいたまスタジアムの浦和レッズサポーター

【小江戸川越】

数少ない観光地として、川越があげられます。川越には江戸時代の蔵造りの町並みが残っており、徳川3代将軍家光の乳母で大奥の礎を築いた春日局にゆかりのある喜多院があります。東北にもいくつかレトロな街並みがありますが、川越では、東京には現存していない江戸の面影の町並みを見ることができます。

【さつまいも】

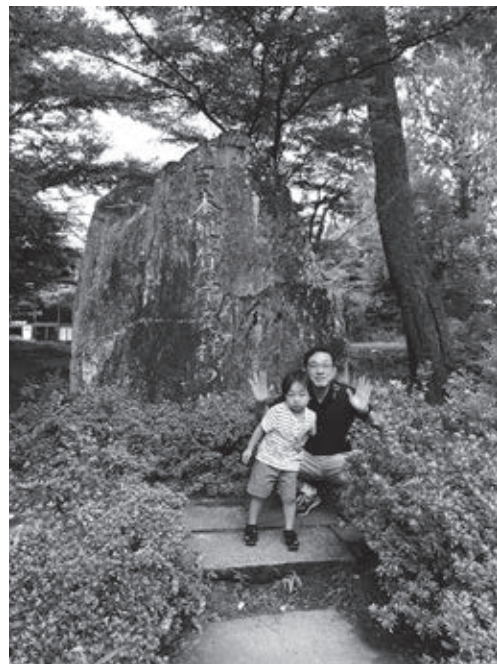
もう一つ川越で有名なのが、さつまいもです。川越にはさつまいもの和菓子、洋菓子、スイーツ、いもサイダー、さつまいも懐石料理まで、ありとあらゆる形でさつまいもが味わえます。私のお薦めは、川越の菓子屋横丁の芋ケンピです。川越観光の際はぜひ食べてみてください。また、最近は大宮駅のお土産コーナーでもさつまいも系のお菓子の品数が一番多いようです。

【大宮ナポリタン】

かつては鉄道のまちとして栄えた大宮で、周辺で働いていた鉄道員や工場マンがよく食べていたのがナポリタンだそうです。大宮のご当地グルメがナポリタンであるとは埼玉県民でも知らない人が多いと思います。数年前からTV番組などでも紹介されており、徐々に認知度があがっているようです。大宮駅周辺の喫茶店や食堂、レストラン30店舗ほどで味わえます。大宮を一躍有名にした鉄道博物館の見学の帰りに昔ながらのナポリタンを食してみたいかがでしょうか。

【秩父ジオパーク】

明治11年に東京大学の初代地質学教授のナウマン先生が、秩父に地質巡検に来られたことから、秩父地方が日本地質学発祥地として、埼玉県立自然の博物館に「日本地質学発祥の地」の記念碑が建てられています。



日本地質学発祥の地 記念碑 孫と一緒に

以上、数少ない埼玉県の観光地や特産品の紹介でしたが、埼玉に興味を持っていただけでしょうか？ 仙台駅ー大宮駅は東北新幹線はやぶさで1時間10分ほどです。十分日帰りも可能なので、ぶらっと大宮、川越、秩父に出かけて見てはいかがですか。